



## ファームわたむき



▲応援して下さる方にお米を届けられることが一番の喜びです

現在日本では、高齢化や人口減少を背景に、多くの地域で、担い手不足や耕作放棄地などさまざまな課題があり、日野町でも同様の課題を抱えています。

福わたむきの里福祉会は、そのような課題を地域と人が結びついて解決し、ずっと日野町であり続けて欲しいという思いで活動されています。

そうした「地域共生社会」づくりの活動として、エコドームや高齢者の配食・見守りサービスを実施されています。

す。

ほかに、平成17年にファームわたむきを設立。障がい者の雇用の確保、田園環境を保全するため、米づくりに取り組まれています。

今回、米づくりのこだわりや今後の目標についてお話を伺いました。

### おいしごはんを 食べてもらいたい

ファームわたむきは、離農された方から農地を借り受



け、現在7.5haの面積を耕作されています。化学肥料を減らし、自然から生まれた有機質資材を含む肥料を使用。滋賀県の「環境こだわり農産物」の認証を受けておられ、自然に優しい米づくりをされています。

田んぼは蔵王・北畑・西明寺など標高300mほどの山手で、沢ガニや虫のいるきれいな川の水や、昼と夜の寒暖差、粘土質の土であるなど、おいしいお米ができる条件が揃っている、そういった圃場も管理されています。

また昨年から『日本一おいしいお米を作る匠』として有名な山形県の遠藤五一さんから教えを受け、新たな米づくりの方法に挑戦されています。

### 今後の目標

ファームわたむきでは、東京オリンピック・パラリンピックの選手へ向けたお米の提供をめざされています。そのため、グローバルGAP

(世界基準の農業認証)を今年の10月下旬に取得され、また、全国の生産者が集まる「米・食味分析鑑定コンクール」での入賞を目標に日々挑戦されています。

## （一社）こうけん舎が 「近江鉄道・信楽高原鉄道沿線 盛り上げ活動」で最優秀賞

7月31日(水)に八日市商工会議所で開催されたびわこ京阪奈線(仮称)鉄道建設期成同盟会総会とあわせ、「近江鉄道・信楽高原鉄道沿線盛り上げ活動」の表彰式が行われ、(一社)こうけん舎が最優秀賞を受賞されました。

(一社)こうけん舎は、近江鉄道日野駅の観光案内交流施設『なないろ』のカフェスペースで日替わりオーナー制によるカフェ運営を実施されています。

『なないろ』で腕を磨いた出店者の中には、自分のお店を持たれる方もでてくるなど、日野駅の活性化だけでなく、日野町全体の活性化にもつながっています。

受賞おめでとうございます。



表彰を受ける代表者西塚和彦さん(写真右)

# ひのらこだより

日野町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。



わらべ保育園  
(いせの218)

## わらべ保育園 ☆ 第二わらべ保育園

【保育目標】

- ①進んで体を動かす子
- ②よく見、よく聞きしっかり考える子
- ③自分の気持ちを力いっぱい豊かに表現できる子
- ④要求をしっかり持ち、意欲的に取り組む子
- ⑤仲間の中に居ることを喜び、友達を大切にする子



第二わらべ保育園  
(大窪940)

## わらべ保育園

わらべ保育園は現在0歳児から5歳児まで98名の子ども達が通っています。一日の活動のほとんどを保育園で過ごす子どもたちですが、保護者や地域の方々力を借り、協力し合っ子ども達の成長を見守り応援しています。

8月は4歳、5歳児のお泊り保育をしました。今回はその様子をお伝えします。

### 【4歳児の様子】

たまねぎに泣かされるよ～



ドラム缶風呂って  
あったかいな～



### 【5歳児の様子】

おりぞめ体験  
いいでしょう!



みんなで入った  
プール風呂は最高!  
イエ～イ



夜のお楽しみツアーは  
ドキドキわくわくでした  
何かに出会ったけど  
ほんもの・・・??

## 第二わらべ保育園

第二わらべ保育園は0歳児から5歳児まで86名の子ども達通っています。

8月には夏を感じられる大胆な遊びや体験を通して子ども達は大きくたくましく育っています。

### 【2歳児どろんこあそび】



わあ～つめたくて  
きもちがいい～

砂場で大胆にどろんこあそび。  
泥水の中だっってへっちゃんだよ。

みんな!へんしんするぞ!  
うん!オッケー!何色にへんしんする?  
え～っと...いろいろ人間にへんしんだ!



### 【5歳児ボディペインティング】

### 【異年齢交流 夏まつりごっこ】

3歳児～5歳児の園児が  
夏まつりごっこを楽しみました。

いらっしゃい  
いらっしゃ～い!



さかなつり屋さん 射的屋さん  
玉入れ屋さん 盆おどり...  
さあ～どれにいこうかな

◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当 ☎0748-52-6583